

「G空間行動プラン」の実現イメージ

○地理情報システムと衛星測位を利用して地理空間情報を高度に活用していくことが、現在及び将来の国民が安心して豊かな生活を営むことができる経済社会を実現する上で極めて重要になっている。

○誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり、高度な分析に基づいた確かな情報を入手し行動したりできるG空間(地理空間情報)高度活用社会の実現を目指す。

国土の利用、整備及び保全の推進等

●国土計画や環境計画などの国土の利用、整備及び保全に関する計画の策定、公共施設の維持・管理への利用

●地震・火山活動の監視、災害状況把握・復興支援等への活用

・被災情報や現場写真などをGISで集約し、リアルタイムに情報共有することで的確な応急・復旧対策を行うことができる



●離島の保全・管理

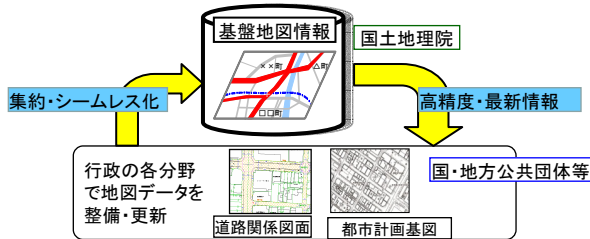
・基準点の設置・管理、空中写真の撮影等の実施



行政の効率化・高度化

●データの共用・一元的整備による費用削減

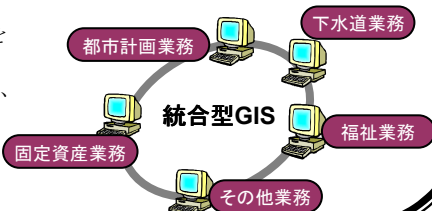
・位置の基準となる基礎地図情報の整備・更新・提供



●地籍整備、登記所備付地図及び公図の電子化

●労力軽減、高度な業務への注力が可能に

・各部局で共用地図を活用することにより、情報交換を迅速にし、効率化を図る



国民生活の安全・安心と利便性の向上

●緊急通報、防災、防犯への活用

・携帯電話等からの緊急通報における位置情報通知へのGPS活用

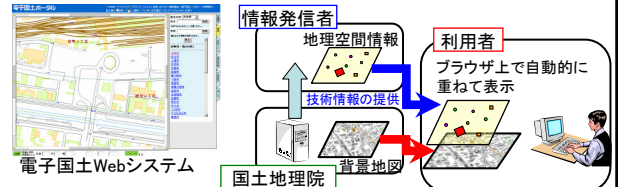
・防災情報プラットフォームの整備による防災情報共有のための共通基盤の構築

・子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤確立のための研究

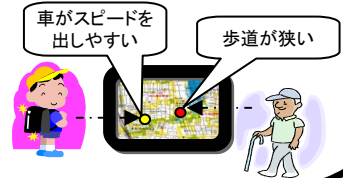
●国民が知りたい情報を分かりやすく容易に入手可能に

・政府の実施するGIS施策に係る総合的なポータルサイトの充実

・容易に情報の公開や共有をすることができる、電子国土Webシステム等の機能拡充と普及



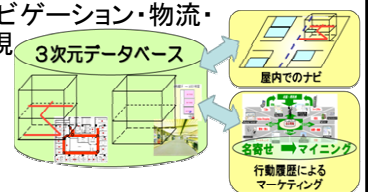
●高齢者や児童の見守り・移動支援



新たな産業・サービスの創出と発展

●屋内も含めた高度なナビゲーション・物流・マーケティング等の実現

・屋内も含めた3次元地理空間情報データベースの構築



●情報化施工の推進

・設計データに基づいて建設機械の排土板を自動制御するマシンコントロール等の普及



●水稻移植作業及び収穫作業の自動化による超省力作業システムの開発

・水稻を対象に耕耘から施肥・播種・移植、収穫までの作業を無人で行える農作業ロボットを開発し、超省力作業技術の開発を目指す

